

日中対話 「少子高齢化時代の日中協力のあり方」 のご案内

この度、東アジア共同体評議会は、グローバル・フォーラム、上海外国語大学日本文化経済学院、上海社会科学院日本研究センターおよび復旦大学国際関係与公共事務学院との共催により、下記の要領で日中対話「少子高齢化時代の日中協力のあり方」を開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

現在の日中関係は、一時の首脳レベルの対話が停止した状態から比べるとはるかに関係が改善されていますが、国際社会の秩序と繁栄をともに担うような責任ある関係には程遠いのが現状です。しかしながら、国際社会、特にアジアにおいては、多くの地球規模課題が顕在化しており、日中両国の協力がますます求められるようになっていきます。その中でも特に重要なのが、少子高齢化社会における持続可能な発展に向けた協力です。日本では、歴史上例をみない急速なペースで少子高齢化が進展することで社会保障費が増大し、社会全体の停滞がみられつつあります。一方中国でも、一人っ子政策の影響などによる高齢化の進展で労働力が落ち、2010年以降急速に経済成長率が低下し、一人当たりの所得水準が高まる前に高齢化が進む「未富先老」社会の到来が懸念されています。ただこうした中において、日中間においては、リハビリなどの医療産業分野における貿易投資が拡大しはじめるなど、新たな関係拡大に向けた動きも随所にみられはじめています。

このような問題意識を踏まえ、本「対話」は、第1セッション「少子高齢化時代の持続可能な発展に向けて」では、少子高齢化社会に対応するための各種の方策とともに、持続可能な発展に向けて日中がどのような協力をすべきなのかについて、続く第2セッション「日中関係の安定化と信頼醸成に向けて」では、上記の協力を進める上に必須となる安定的な日中関係をどのように構築するかについて、日中それぞれの第一線の有識者が一堂に会し、縦横に議論を交わします。本対話は、出席者全員がパネリストに伍して自由に討論することを原則としておりますが、専ら聴衆として参加されることも歓迎致します。なお、当日は日本語・中国語の同時通訳が入ります。

つきましては、ご出席をご希望の方は、2月17日(金)までに、下記フォームより①お名前、②ご所属、③お肩書き、④ご連絡先など、必要事項をご記入の上、事務局宛にご応募ください。なお、会場収容能力(100名)を超える応募がある場合には、先着順で締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

記

日中対話「少子高齢化時代の日中協力のあり方」 (別紙 [プログラム案](#) 参照)

1. 日時：2017年2月20日(月)13:00-17:00
2. 場所：国際文化会館「講堂」(東京都港区六本木 5-11-16、電話:03-3470-4611)
3. 参加費：無料

参加ご希望の方はこちらからお申込みください

<本対話に関する連絡先>

東アジア共同体評議会事務局 (港区赤坂 2-17-12-1301 TEL:03-3584-2193)